

総合計画の計画構成について

1. 従来の総合計画の一般的な構成

- ・従来、総合計画の計画構成は、基本構想、基本計画、実施計画の三層構造により構成する形が一般的であった。
- ・これは、1969年の地方自治法改正により市町村に基本構想の策定が義務づけられた際、法改正に先立って当時の自治省が実施した委託調査報告「市町村計画策定方法研究報告」（1966年）において、こうした三層構造の総合計画が「あるべき市町村計画」として提案され、当時ほとんどの市町村がはじめての総合計画をこの研究報告に準拠する形で策定したことに端を発している¹。

2. 近年の動向とその背景

- ・しかし、この研究報告から自治体を取り巻く社会経済環境は大きく変化しており、近年はこうした形態にとらわれず、総合計画のわかりやすさや関連事務の効率化などの観点から、計画構成を二層構造に整理、簡素化する市区町村が見られはじめている。

表－東京都特別区総合計画の計画構成

	国勢調査人口	基本構想		基本計画			実施計画		
		策定年度	目標年次	策定年度	計画開始年度	計画終了年年度	策定年度	計画開始年度	計画終了年年度
千代田区	41,778	2001	平成30年代	2001	2002	2011	2005	2005	2009
中央区	98,399	1998	なし	2007	2008	2017	実施計画 今後も策定予定なし		
港区	185,861	2002	10年ないし15年後	2008	2009	2014	2005	2006	2008
新宿区	305,716	2007	2025年	2007	2008	2017	2007	2008	2011
文京区	189,632	2001	10年程度	策定せず			—	2008	2010
台東区	165,186	2004	2024	2004	2005	2014	2007	2008	2010
墨田区	231,173	2005	2025	2006	2006	2015	2006	2007	2009
江東区	420,845	2008	概ね20年後	2004	2005	2009	2007	2008	2009
品川区	346,357	2008	なし	2000	2001	2010	2006	2007	2009
目黒区	264,064	2000	なし	2000	2001	2010	2006	2007	2011
大田区	665,674	2008	20年後	2008	2009	2018	2007	2007	2008
世田谷区	841,165	1994	なし	2003	2005	2014	2007	2008	2011
渋谷区	203,334	1995	なし	基本計画 今後も策定予定なし			—	2008	2010
中野区	310,627	2004	10年間	2005	2005	2014	個別の計画のみ策定 総合的な実施計画は策定していない		
杉並区	528,587	2000	なし	2004	2005	2010	2007	2008	2010
豊島区	250,585	2002	2025年	2005	2006	2015	2006	2007	2010
北区	330,412	1999	2015年から2020年頃	2004	2005	2014	2004	2005	2009
荒川区	191,207	2006	20年程度	2006	2007	2016	2006	2007	2010
板橋区	523,083	2005	20年程度	2005	2006	2015	2007	2008	2010
練馬区	692,339	2009	2018年(H30年)代初頭	2005	2006	2010	2007	2008	2010
足立区	624,807	2004	2016年	2004	2005	2012	個別の計画のみ策定 総合的な実施計画は策定していない		
葛飾区	424,878	1990	なし	2005	2006	2015	2005	2006	2009
江戸川区	653,944	2002	2020年頃	2002	2002	2011	2007	2008	2010

¹ 参考資料：「総合計画制度の原型、変容、課題」松井望（都市問題 2003年10月号）